

## 2022年2月 JICA 月次レポート

### 生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業

#### <活動状況>

1. 女子教育と再利用可能な生理用布ナプキン「Happy Pad」の活用をテーマとしたラジオトークショー実施
2. 月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー問題についての小冊子及びパンフレット作成（下書き）
3. 各県で事業開始（キックオフ）の会合を実施
4. ベースライン調査の仕上げ
5. Happy-Pad プロモーションセンター改修の完了に向けた作業

#### 1. 女子教育と再利用可能布ナプキン「Happy Pad」の活用をテーマとしたラジオトークショーの出演

**ムベンデ県**：2月2日 19:00～20:00 の1時間、ムベンデの Heart FM で2度目のラジオのトークショーを実施した。ショーには事務局長、プロジェクトマネージャー、プロジェクトオフィサー、ボランティア員が出席し、それぞれ用意した原稿に基づき重要事項についてトークした。

**ワキソ県**：2月4日 19:00～20:00 の1時間、ナブウェル地域のラジオ番組「Tiger FM」でトークショーを実施した。ショーには、SORAK 代表、プログラムマネージャー、プロジェクトオフィサー、プロジェクトアシスタント ICT が出席した。

**ブタンバラ県**：2月は実施しなかった。

#### 2. 月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー問題についての小冊子及びパンフレットの作成（下書き）

保健省から小冊子及びパンフレット作成に必要な資料や情報を収集し、作成に役立てた。小冊子とパンフレットは作成途中の段階にあり、GBN と共に話し合いを重ねながら3月末までの完成を予定している。

#### 3. 各県で事業開始（キックオフ）の会合を実施

会合には各学校の校長、女性教員、学校運営委員、政府関係者が出席した。この会における主旨は各学校長が県政府へ提出する報告書の中に本事業内容を入れていくこと、各学校に更衣室と洗面所を設けることであった。

##### **ムベンデ県**

2月28日 10:00～14:00、チバリンガ準群ホールで会合を開催した。出席者の受付から始まり、開会の祈り、参加者自己紹介、開会の挨拶、プレゼンテーション、会合の目的説明、県教育長の挨拶、教育センター長の挨拶、地域の学校調査官の挨拶、オープンディスカッション、改善策の検討、閉会の挨拶で締めくくられた。対象校全10校の校長もしくは代表者と女性の教員、教育センター長、地域の学校調査官、準群長、準群政府議長が出席し、各校の校長は特定された学校施設の修繕に協力する覚書に署名した。

## ワキソ県

3月4日10:00～14:00、Jinja Karoli小学校のホールで会合を開催した。参加者が到着した後、出席者の受付、開会の祈り、自己紹介、会合の目的説明、開会の挨拶、事業内容のプレゼンテーション、オープンディスカッション、改善策の模索を行い、市教育長による挨拶をもって閉会した。開会の挨拶はナンサナの教育省長官が、閉会の挨拶は市の教育長が行った。本会には9校の校長及び女性教員が出席し、特定された学校施設の修繕に協力する覚書に署名した。

## ブタンバラ県

3月3日12:00～15:00、ンガンド準群のBudinse Memorial Schoolで会合を開催した。参加者の到着、出席者の受付、開会の祈り、自己紹介、会合の目的説明、開会の挨拶、事務局長の挨拶、準群政府議長の挨拶、県教育長の挨拶、学校調査官の挨拶、事業内容のプレゼンテーション、オープンディスカッション、改善策の模索の後、県の副駐在コミッショナーが閉会の挨拶を行った。県教育長、書記官、教員連合長、対象校全10校の校長、ブタンバラ県の副駐在コミッショナーが出席し、各校の校長は特定された学校施設の修繕に協力する覚書に署名した。

### <会合を通して認識した課題>

- 提供予定のミンを1台以上必要としていること、ワキソ県の Jinja Kaloori 小学校や Ssanga 小学校のように多くの生徒数を抱える学校ではトイレや洗面所などの施設が込み合うため、多くの設備の設置を必要としている。また、ワキソ県の学校長によると 9 歳で初潮を迎える女子もいるため、学校でより多くの生理用品を必要としている。
- ナプキン作りの材料や完成したナプキンを保管するための箱が必要であることが分かった。
- ナプキン作りのトレーニング後、修了者に証明書の発行をするべきだと参加者が提案した。

#### 4. ベースライン調査の仕上げ

ベースライン調査の報告書が完成したので、これをもって各県（3 県）の会合にて報告した。

#### 5. Happy-Padプロモーションセンター改装の完成に向けた作業

センターは現在改修工事中であり、間もなく利用開始段階となる。設備や備品も随時揃えられる予定であり、電気は通った状態にある。ドアや窓の設置がまだであるが、3月末までに工事開始予定である。

### <事業による効果的な影響およびもたらした変化>

会合では以下の結果が得られた。

- 学校長たちは事業内容に賛同し、効果的な事業の実施に向けて覚書の規約と条件に合意した。
- 各県の関係者と地域の指導者は事業成功のために SORAK 及び各県対象校と常時連携していくことを約束した。
- 活動状況把握を目的として学校長とプロジェクトスタッフ間の WhatsApp グループを各県ごとに作った。
- 政府関係者と各学校長が交流する良い機会となった。また学校で直面している問題を知り、今後の活動についてメモを取っていた。

### <直面した問題>

- 会合の参加者が時間通り集まらないことがあったが、一定数が集まるまで開始時間を遅らせ開催した。ワキソ県では市教育長の参加が遅れたが、会終了までに到着し各校の代表者にメッセージを伝えた。
- 会合に招待した後、リマインドしたにもかかわらず欠席する責任感が足りない学校長もいた。チームは市の教育長に相談し、教育長が学校に訪問し対応してくれることになった。
- 参加者と連絡がつかないことがあったが、別の連絡先を特定することで対応した。電話番号が一つしかない者に関しては繋がるまで電話をかけ続けた。
- 小冊子づくりにおいて、生徒や教員、コミュニティ内の誰しもが簡易に理解できるよう、簡潔な文章を心掛け、グラフなどの図表を多用する必要があると指摘を受けた。
- 学校施設改善に充てられる予算に対し対象校の期待が非常に大きいことがわかったが、まずは本事業の成功に注力するよう促した。
- インターネットの接続が不安定なことから、会合中日本のGBNとの通信がうまくいかなかった。

### <教訓>

- 建物やトイレの追加など本事業で計画している課題リストよりも多くの支援を必要としている学校が多かった。
- 会合の参加者は、生徒や教員にナプキン作りの訓練をすることに高く評価した。

### <関係者のコメント>



#### **ムベンデ県 チバリンガ教育センター長**

「初潮を迎えた少女が、性交することで経血を止められると男性から嘘をつかれ妊娠してしまったケースもあるため、月経時の衛生管理の問題に対し正しい認識を持つという点において本事業は非常に重要です。」



#### **ムベンデ県カサンジャ郡 郡学校調査官**

「貧困によって多くの親は子どもに毎月使い捨ての生理用品を買ってあげることができないため、再利用可能なナプキンの課題は非常に重要です。これは良い機会ですので、学校のトイレや洗面所の改修工事を予定通り行い、事業が継続できるようにしていきましょう。」



#### **ムベンデ県チバリンガ準群 副準群長**

「家庭内で親から娘へ月経時の衛生管理の問題において教育できるように教員は母親たちを招集し保護者会にて講習を行うべきである。」



#### **ワキソ県ナンサナ市議会 教育スポーツ大臣**

「これは非常に重要な課題であるため、生理用ナプキン作りのトレーニングとその活用が私立学校にも拡大することを要望します。ナンサナ市には 3000 校もの学校があります。」



#### **ワキソ県ナンサナ市 Jinja Kaloori 小学校校長**

「一日に 20 件ほど学校で生理が始まった生徒の対応をしています。再利用可能なナプキンを作製し学校で利用できるというのは非常に助かります。また、都市部の子どもたちの多くは 9 歳で生理が始まります。」



#### **ワキソ県ナンサナ市 市教育長**

「SORAK と始めた本事業はとても重要な活動であり、教育部門で変化を生むことができると思います。事業の目的が達成できるよう全てのステークホルダーに援助を効果的に利用するよう要求します。」



#### **ブタンバラ県 駐在コミッショナー**

「提供された資金や援助を意図された目的に使うことが非常に重要であり、私が見回ればどこが適切に援助を活用しているのかわかるでしょう。」

<活動写真>



学校で月経時の衛生管理にきちんと取り組んでいくために必要なことや、月経時の衛生管理の詳しい内容についてプロジェクトマネージャーがコミュニティに対し啓発している。(ムベンデ県)



プログラムマネージャー「Tiger FM」を通して学校で月経時の衛生管理を実行していくために何をすべきか啓発している。(ワキソ県)



プロジェクトオフィサーが学校における安全な月経時の衛生管理の必要性について話している(ワキソ県)



「Tiger FM」のディレクターがリスナーに事業を紹介している(ワキソ県)



会合に参加した学校長と女性教員(ムベンデ県)



ナビンゴーラ準群 Kiyita 小学校の校長が覚書を結んでいる(ムベンデ県)





SORAK 代表が事業についてプレゼンテーションを行っている（ワキソ県）



プログラスマネージャーが市の教育省長官に開会の挨拶をお願いしている。（ワキソ県）



市教育長が閉会の挨拶を述べている（ワキソ県）



ステークホルダーが到着し受付をしている様子（ブタンバラ県）



会合でチームリーダーが事業紹介をしているところ。（ブタンバラ県）



Butalunga 小学校の校長が覚書を結んでいる（ブタンバラ県）



Happy-Pad プロモーションセンターに電気を通し必要な数のソケットとスイッチを設置した。

(ワキソ県 Katalemwa Secondary School)



このような窓とドアの設置工事を開始予定。

(ワキソ県 Katalemwa Secondary School)